



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 安楽亭

コード番号 7562 URL <http://www.anrakutei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 柳 時機

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 安部 一夫

TEL 048-859-0555

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	12,845	△0.4	499	16.7	481	67.0	287	△17.8
27年3月期第3四半期	12,898	△0.9	427	△2.6	288	△25.5	349	62.3

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 291百万円 (△18.1%) 27年3月期第3四半期 356百万円 (66.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	13.43	—
27年3月期第3四半期	16.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	14,011	6,066	43.3
27年3月期	14,080	5,775	41.0

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 6,066百万円 27年3月期 5,775百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—		
28年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,250	△0.1	550	△3.7	520	22.6	360	△4.0	16.83

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	21,504,347 株	27年3月期	21,504,347 株
28年3月期3Q	115,616 株	27年3月期	115,137 株
28年3月期3Q	21,388,833 株	27年3月期3Q	21,390,975 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府による経済政策や金融緩和政策を背景とした企業収益改善や雇用情勢の改善がみられるものの、米国の金融政策が正常化に向かう中、中国をはじめとした海外経済の減速懸念等、わが国の景気を下押しするリスクもあり、先行きの見通しは依然として不透明な状況が続いております。

外食市場は、原材料価格の高騰及び人手不足のトレンドが続いていることもあり、依然として厳しい競争状態にあります。

このような環境の下、当社グループは経営理念である「食を通じて地域社会の豊かな生活文化の向上に貢献する」に基づき、お客様のご要望に合う魅力あふれる「安全・安心」に配慮した商品の提供に加え、おもてなしの心を込めたサービスの提供に努めてまいりました。

また、成長戦略を実現するために、既存店舗の大規模改装に積極的に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高128億45百万円（対前年同期比0.4%減）、営業利益4億99百万円（対前年同期比16.7%増）、経常利益4億81百万円（対前年同期比67.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億87百万円（対前年同期比17.8%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 安楽亭業態

安楽亭業態の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は195店舗であります。内訳は直営156店舗、暖簾6店舗、FC33店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、「がぶりっ！BBQフェア」、「アイルー村のご馳走フェア」、「直火焼きステーキ丼フェア」等、安楽亭の楽しさを伝えるフェアや「韓国チゲ」等のメニュー作りを行ってまいりました。

以上の結果、安楽亭業態の当第3四半期連結累計期間の売上高は110億56百万円（対前年同期比0.5%増）となり、セグメント利益（営業利益）は7億93百万円（対前年同期比14.3%増）となりました。

② 七輪房業態

七輪房業態の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は23店舗であります。内訳は直営20店舗、暖簾1店舗、FC2店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、「黒毛和牛 稀少部位食べ比べフェア」、「行楽焼肉フェア」、「ホルモン食べ比べ祭」、「牛一頭食べつくし祭」等、七輪房の楽しさを伝えるフェアや「大人の抹茶スイーツ」等のメニュー作りを行ってまいりました。

以上の結果、七輪房業態の当第3四半期連結累計期間の売上高は15億45百万円（対前年同期比2.2%減）となり、セグメント利益（営業利益）は1億53百万円（対前年同期比11.4%減）となりました。

③ その他業態

その他業態の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は10店舗であります。内訳は直営3店舗、暖簾1店舗、FC6店舗であります。

なお、その他業態には、「からくに屋（焼肉）」、「国産牛カルビ本舗安楽亭（焼肉）」、「和牛カルビ屋（焼肉）」、「春秋亭（和食）」、「上海菜館（中華）」、「龍饗（中華）」、「AGRICCO（イタリアン）」、「カフェビーンズ（喫茶）」を含んでおります。

以上の結果、その他業態の当第3四半期連結累計期間の売上高は2億43百万円（対前年同期比22.5%減）となり、セグメント利益（営業利益）は16百万円（前年同期はセグメント損失7百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ69百万円減少し、140億11百万円となりました。これは、借入金の返済等による現金及び預金の減少等が要因です。負債は、前連結会計年度末に比べ3億61百万円減少し、79億44百万円となりました。これは、借入金の減少等が要因です。純資産は、前連結会計年度末に比べ2億91百万円増加し、60億66百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等が要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成27年5月12日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,356,412	2,023,331
受取手形及び売掛金	336,222	353,140
商品及び製品	134,071	197,311
仕掛品	1,235	1,207
原材料及び貯蔵品	560,924	630,230
前払費用	198,917	203,889
繰延税金資産	86,055	51,064
その他	47,250	59,493
流動資産合計	3,721,089	3,519,669
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,128,890	2,340,583
機械装置及び運搬具(純額)	39,872	62,641
工具、器具及び備品(純額)	155,286	181,434
土地	4,984,367	4,984,367
リース資産(純額)	155,636	146,286
建設仮勘定	—	5,258
有形固定資産合計	7,464,053	7,720,572
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	96,951	103,905
長期貸付金	826,480	752,069
長期前払費用	23,057	17,791
繰延税金資産	76,793	72,348
敷金及び保証金	2,453,313	2,382,615
その他	51,411	63,579
貸倒引当金	△735,280	△734,732
投資その他の資産合計	2,792,725	2,657,576
固定資産合計	10,359,733	10,491,714
資産合計	14,080,823	14,011,383

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	497,604	762,098
短期借入金	862,172	517,900
リース債務	47,067	48,140
割賦未払金	77,080	111,087
未払金	231,306	304,781
設備関係未払金	25,207	40,398
未払費用	479,018	490,887
未払法人税等	180,892	48,326
未払消費税等	212,562	83,748
賞与引当金	85,450	49,240
転貸損失引当金	13,297	7,537
その他	464,370	403,491
流動負債合計	3,176,029	2,867,638
固定負債		
長期借入金	4,115,000	3,969,691
リース債務	126,910	113,395
長期割賦未払金	206,738	306,356
繰延税金負債	119,293	110,923
役員退職慰労引当金	298,404	316,133
転貸損失引当金	55,518	45,037
退職給付に係る負債	134,872	137,992
その他	73,034	77,454
固定負債合計	5,129,772	5,076,985
負債合計	8,305,802	7,944,624
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,182,385	3,182,385
資本剰余金	2,537,261	2,537,261
利益剰余金	118,258	405,495
自己株式	△68,830	△69,051
株主資本合計	5,769,074	6,056,091
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,946	10,668
その他の包括利益累計額合計	5,946	10,668
純資産合計	5,775,020	6,066,759
負債純資産合計	14,080,823	14,011,383

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	12,898,260	12,845,430
売上原価	4,608,552	4,641,942
売上総利益	8,289,707	8,203,487
販売費及び一般管理費	7,861,774	7,704,058
営業利益	427,933	499,429
営業外収益		
受取利息	23,483	22,148
受取配当金	1,784	1,796
受取地代家賃	7,817	7,700
貸倒引当金戻入額	512	548
その他	33,373	26,324
営業外収益合計	66,970	58,518
営業外費用		
支払利息	94,417	69,523
支払手数料	100,000	—
その他	11,951	6,679
営業外費用合計	206,368	76,203
経常利益	288,535	481,743
特別利益		
固定資産売却益	15,026	1,050
投資有価証券売却益	1	112
転貸損失引当金戻入額	—	8,189
受取保険金	3,924	216
債務免除益	361,663	—
特別利益合計	380,616	9,567
特別損失		
固定資産売却損	2,593	—
固定資産除却損	4,251	14,084
減損損失	21,858	5,202
賃貸借契約解約損	8,514	2,222
特別損失合計	37,217	21,508
税金等調整前四半期純利益	631,934	469,802
法人税、住民税及び事業税	249,188	153,729
法人税等調整額	33,273	28,834
法人税等合計	282,461	182,564
四半期純利益	349,472	287,237
親会社株主に帰属する四半期純利益	349,472	287,237

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	349,472	287,237
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,914	4,721
その他の包括利益合計	6,914	4,721
四半期包括利益	356,387	291,959
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	356,387	291,959

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	11,004,378	1,579,731	314,150	12,898,260	12,898,260	—	12,898,260
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	11,004,378	1,579,731	314,150	12,898,260	12,898,260	—	12,898,260
セグメント利益又は 損失(△)	694,242	172,813	△7,423	859,631	859,631	△431,698	427,933

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに帰属しない全社資産について、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては21,858千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	11,056,302	1,545,751	243,376	12,845,430	12,845,430	—	12,845,430
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	11,056,302	1,545,751	243,376	12,845,430	12,845,430	—	12,845,430
セグメント利益	793,671	153,029	16,047	962,749	962,749	△463,320	499,429

(注) 1. セグメント利益の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「安楽亭業態」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては5,202千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。